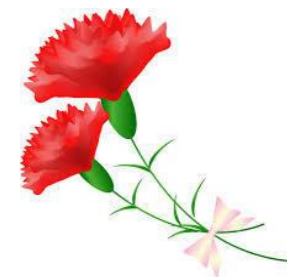


ニュースレター 5月

2022. 5. 1発行



今月は雨漏れがしやすい屋根の形についてお届けします。



HPのお問合せはこちらから

家づくりのときには、間取りや外観デザイン、設備機器など、気になることや決めなければならないことがたくさんあります。そんななかで、屋根について深い関心のある人は少ないかもしれません。けれども、屋根の掛け方によっては雨漏りの危険性が高まることもあるのです。今回は、屋根と住宅の寿命を左右する雨漏りとの関係について注目します。

1、屋根は住宅の寿命を左右する重大な要素



家を新築するとき、だれもが熱心に検討に検討を重ねる間取りや外観デザイン。それに対して屋根についての関心はどうでしょう。

屋根の掛け方や屋根勾配は外観デザインに大きく影響しますが、あまりにデザインを優先しすぎると、雨仕舞いの悪い家になってしまい、住宅の寿命を縮める恐れもあるので、注意が必要です。**このことを念頭に屋根を検討する人は少ないと思います。**

2、複数の屋根を組み合わせたデザイン

最近の住宅の外観はデザインの凝ったものが増え、屋根の形も単純な切り妻や寄棟と言えるものが少なくなっています。大小の切妻屋根を組み合わせた、切り妻と寄棟を組み合わせるなど、複雑な屋根形状の家をよく見かけるようになりました。

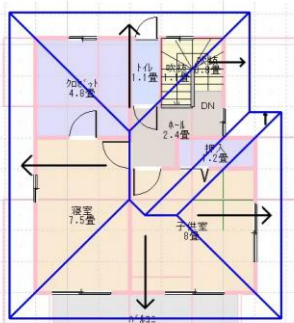
これらの住宅の外観は、奥行きや変化を感じさせ、モダンな街並みをつくり出します。けれども、屋根形状を複雑にする場合は要注意です。複数の屋根を組み合わせることで、雨水が流れにくくなったり、雨水が溜まってしまふ谷ができてしまうと、長年のうちに雨漏りの原因になるからです。

3、屋根勾配と雨仕舞いのよさは関係大

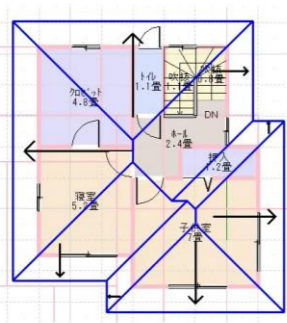
また、屋根勾配と外観デザインは密接に関係しますが、雨の多い日本では雨水が速やかに流れるように勾配をつけることが重要です。

勾配があまり緩やかだと、雨が流れにくく、日本では4寸前後の勾配をつけるのが一般的です。また、洋風のデザインにするために、軒のない家にするもありますが、**軒がなかったり、軒の出が浅いと、雨水がかかるので、外壁が汚れたり、傷みが早くなります。**

4、屋根伏図でわかる屋根のこと



例1の二階屋根伏図



例2の二階屋根伏図

屋根については、屋根伏図という図面に書かれているので、面倒がらずにしっかり確認しましょう。屋根伏図でわかるのは、主に下記の情報です。

- 屋根のかかり方(屋根の谷と山)
- 屋根のデザイン(切り妻や寄棟など)
- 屋根勾配(4寸勾配や5寸勾配といった勾配)
- 屋根材

5、単純な屋根形状のほうが雨漏りの危険も低い



屋根材の種類によっても適切な屋根勾配は違ってきます。萱葺きの屋根は、現代の家に比べて急勾配のものも

では、どんな屋根だったら、雨漏りの危険が小さく、住宅の寿命を長くすることができるのでしょうか。

答えをひとことではいうなら**単純な屋根**です。単純な形状の屋根なら、雨水が屋根の一部分にたまってしまふことなく、スムーズに雨樋に流れていきます。施工に問題がなく、屋根材の破損がなければ、雨漏りの危険はまず、ないといえるでしょう。

一方、複数の屋根を組み合わせると、山や谷がいくつもできます。谷に雨水がたまることは建物にとってよくないことなので、危険箇所がないか、チェックが必要です。複雑な屋根形状にすると雨漏りするということではありませんが、複雑な形状の屋根は施工が難しく、新築時だけでなくメンテナンスの場合も念入りなチェックが必要になります。その点、**単純な屋根はメンテナンスもしやすく、費用も安く**なるので、よりよいといえるのです。

6、屋根の雨水が滞ることなく流れる勾配に



屋根勾配も雨漏りと関係があります。あまり緩やかな勾配だと、雨水が速やかに流れないので危険度が高まります。一般的な屋根勾配は、3~6寸くらいが多いようですが、屋根材の種類や屋根の面積、積雪地帯では積雪量などによっても、適切な勾配は違ってきます。また、片流れのような形状の屋根は、かなり緩やかな勾配にすることもあります。

急勾配の屋根は小屋裏が大きくとれるなどのメリットがあり、デザイン的には洋風で目を引きますが、あまり勾配がきつくなると屋根専用の足場が必要になり、工事費用がアップします。そして、将来のメンテナンスのときにも多額の費用がかかることになります。

7、軒は深めにとって外壁を守る

日本のように雨の多い地域では、**軒はあったほうが無難**です。前述のように軒が深いと、外壁に雨水がかかりにくいので、藻の発生も抑制できます。結果的に、汚れにくく、傷みにくくなります。

また、雨樋についても、デザインを重視するばかりに必要な本数を設置しなかったり、適切な場所に設置しないケースがあるようですが、スムーズに雨水が流れることを考えて設計しましょう。

このように、外観デザインばかりを優先するのではなく、雨漏りの原因となるような谷をつくらぬ屋根形状を考え、屋根材や雨樋、軒の出など、総合的に外まわりのプランニングをしてください。

株式会社 渡辺組

本社 海津市海津町高須町720-1
0584-53-0174

リフォーム 海津市海津町馬目371-3 (コーポ日新1F)
0120-202-988

E-mail info@watanabegumi-kaizu.com
URL http://www.watanabegumi-kaizu.com

土木建築
リフォーム

*毎月皆様の暮らしのお役立ち情報をお届けしています。何かお気付きの事や知りたい事などございましたらいつでもご連絡をお申し付け下さい。皆様のご意見ご感想を元にお役に立てれば幸いです。